

「臨床評価」第47巻(2019年度)掲載記事予定

* 下記関連セミナー等の講演録等の掲載を予定しています。

(準備中の企画のため、変更となる可能性もあります。)

* 今後のセミナー案内配信を希望される方、お問合せは、cont@nifty.com へご連絡下さい。

トップページ(<http://cont.o.oo7.jp/>)からリンクの「関連シンポジウム」(<http://cont.o.oo7.jp/sympo.html>)に最新情報を掲載します。

主催：臨床研究リスク管理研究会 共催：株式会社臨床評価刊行会
後援：医薬品企業法務研究会 一般財団法人日本製薬医学会 協力：三井住友海上火災保険株式会社
開催：2018年12月4日(火)

AMEDの達成と世界への飛躍

～人類の課題解決先進国としての健康・医療イノベーション戦略と取組み～

<第1部> 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター(TRI)

福島 雅典 センター長「アカデミア発disruptive innovationの創出と疾病征圧の展望」

<第2部> 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

末松 誠 理事長「AMEDのミッション：グローバルデータシェアリング」

主催：臨床研究リスク管理研究会 共催：株式会社臨床評価刊行会
協力：三井住友海上火災保険株式会社 開催：2018年10月22日(月)

IRB/倫理審査における「一般の立場の委員」：市民・社会・患者を代表して、審議・採決に参加する

「韓国IRB「一般の立場」の委員の役割と経験」

Ms. Yoo Seong Hwa Art & Company

韓国三星(サムソン) ソウル病院 IRB委員

通訳：Rhee Younjin, 韓国三星(サムソン) ソウル病院 被験者保護監督室

「日本の倫理審査委員会「一般の立場」の委員の役割と経験」

佐伯晴子 一般社団法人 マイインフォームド・コンセント 理事長

主催：臨床研究リスク管理研究会 共催：株式会社臨床評価刊行会
開催：2017年11月2日(木)

IRB委員のリスク・ベネフィット評価の方法論と審査結果の基準

韓国三星(サムソン) ソウル病院(AAHRPP認証機関)に学ぶ

「研究パターンによるリスク・ベネフィット評価」

「IRB委員からみる審査結果の選択と基準：承認、条件付承認、保留をどう選択するか」

Mr. Cho Hyunin, 韓国三星(サムソン) ソウル病院 被験者保護監督室

通訳：Rhee Younjin, 韓国三星(サムソン) ソウル病院 被験者保護監督室

主催：IFAPP (International Federation of Associations of Pharmaceutical Physicians & Pharmaceutical Medicine: 国際製薬医学会) / 組織委員会：今村恭子、西馬信一、松山琴音、岩本和也
開催：2018年9月27日(木)・28日(金)・29日(土)

ICPM (International Conference in Pharmaceutical Medicine : 国際製薬医学大会) 2018 — 医薬品開発の将来

特別講演1：Otmar Kloiber (世界医師会事務総長)

「変化する医薬品開発におけるバイオメディカル専門家の役割」

特別講演2：鈴木康裕 (厚生労働省医務技監)

「日本における健康関連バイオ技術の未来」 その他、関連記事

第30回日本生命倫理学会年次大会 2018年12月8日(土) 国際シンポジウムにおいて、韓国・台湾からの演者を招いての、脳科学研究の推進状況と「脳神経倫理」の役割(韓国)、世界医師会「ヘルスデータベースとバイオバンクに関する台北宣言」のインパクトと「オプトアウト権利」をめぐる紛争と「研究に参加する倫理的責務」をめぐる議論(台湾)などについて(掲載形態を検討中)